

社会科(公民的分野) 9年 年間指導計画

月	単元・題材	学習内容	時間
7	第1章 現代社会と私たち 1節 現代社会の特色と私たち 1 持続可能な社会に向けて 2 グローバル化 結び付きを深める世界 3 少子高齢化 変わる人口構成と家族 4 情報化 情報が変わる社会の仕組み	1 持続可能な社会とは、持続可能な社会の実現に向けて私たちが創る社会。 2 グローバル化とは、国際競争と国際分業、グローバル社会と日本。 3 少子高齢化とは、多様化する家族の形、少子高齢社会の課題。 4 情報化とは、情報化による社会の変化、情報化の課題、探究のステップ。	6
7	2節 私たちの生活と文化 1 私たちの生活と文化の役割 2 伝統文化と新たな文化の創造 3 多文化共生を目指して	1 文化とは、科学・宗教・芸術の役割、文化の役割と課題。 2 伝統文化とは、日本の多様な伝統文化、伝統文化の継承の課題。 3 世界に広がる日本文化、日本の中の国際的な文化、多文化共生の実現のために。	5
7	3節 現代社会の見方や考え方 1 社会集団の中で生きる私たち 2 決まりを作る目的と方法 3 効率と公正 4 決まりの評価と見直し	1 社会集団とは、社会的存在としての人間、対立と合意。 2 さまざまな決まりと目的、権利と責任・義務、決まりを作るさまざまな方法。 3 全員が納得するために、効率とは、公正とは。 4 決まりは変更できる、決まりを評価する観点、共生社会を目指して。	6
9	第2章 個人の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法 1 人権の歴史と憲法 2 日本国憲法とは 3 国民主権と私たちの責任 4 平和主義の意義と日本の役割 5 基本的人権と個人の尊重	1 人権の考え方、人権思想の発展と広がり、憲法と立憲主義の意義。 2 大日本帝国憲法、日本国憲法の制定とその基本原理、日本国憲法が定める政治の仕組み。 3 国民主権と政治参加、憲法改正、「象徴」としての天皇。 4 平和主義と憲法第9条、日米安全保障条約と集団的自衛権、自衛隊の国際貢献、被爆国日本の役割。 5 人権を保障するとは、だれもが持っている人権、子どもの人権。	6

9	<p>2節 人権と共生社会</p> <p>1 平等権① 共生社会を目指して</p> <p>2 平等権② 共生社会を目指して</p> <p>3 自由権 自由に生きる権利</p> <p>4 社会権 豊かに生きる権利</p> <p>5 人権を確実に保障するための権利</p> <p>6 「公共の福祉」と国民の義務</p>	<p>1 平等に生きる権利、部落差別の撤廃、アイヌ民族への差別の撤廃、在日韓国・朝鮮人への差別の撤廃。</p> <p>2 男女平等を目指して、性の多様性への理解、障がいのある人への理解、在日外国人への理解。</p> <p>3 憲法が保障する自由とは、精神の自由、身体の自由、経済活動の自由。</p> <p>4 人間らしい生活を営む権利、生存権、教育を受ける権利、勤労の権利と労働基本権。</p> <p>5 参政権、裁判を受ける権利、その他の請求権。</p> <p>6 「公共の福祉」とは、人権の制限が許される場合、国民の義務。</p>	7
9	<p>3節 これからの人権保障</p> <p>1 新しい人権① 産業や科学技術の発展と人権</p> <p>2 新しい人権② 情報化の進展と人権</p> <p>3 グローバル社会と人権</p>	<p>1 社会の変化と「新しい人権」、環境権、科学技術の発展と人権、自己決定権。</p> <p>2 知る権利、プライバシーの権利、インターネットと人権。</p> <p>3 発展途上国の社会的弱者、人権保障の国際的な広がり、グローバル社会における人権保障。</p>	3
10	<p>第3章 現代の民主政治と社会</p> <p>1節 現代の民主政治</p> <p>1 政治と民主主義</p> <p>2 選挙の意義と仕組み</p> <p>3 政党の役割</p> <p>4 マスメディアと世論</p> <p>5 選挙の課題と私たちの政治参加</p>	<p>1 政治とは、民主主義とは、多数決と少数意見の尊重</p> <p>2 政治参加としての選挙、選挙の基本原則、日本の選挙制度。</p> <p>3 政党の働き、政党政治、日本の政党政治。</p> <p>4 世論とマスメディア、メディアリテラシー、公正な世論を形成するために。</p> <p>5 棄権の増加、一票の格差、私たちの政治参加。</p>	6
10	<p>2節 国の政治の仕組み</p> <p>1 国会の地位と仕組み</p> <p>2 法律や予算ができるまで</p> <p>3 行政を監視する国会</p> <p>4 行政の仕組みと内閣</p> <p>5 行政の役割と行政改革</p> <p>6 裁判所の仕組みと働き</p> <p>7 裁判の種類と人権</p> <p>8 裁判員制度と司法制度改革</p> <p>※ 模擬裁判</p> <p>9 三権の抑制と均衡</p>	<p>1 国会の地位、国会議員の地位、二院制、国会の種類</p> <p>2 法律・予算とは、委員会と本会議、衆議院の優越。</p> <p>3 内閣総理大臣の指名、条約の承認、国政調査権、その他の国会の仕事。</p> <p>4 行政の役割と仕組み、内閣の仕事と組織、議院内閣制。</p> <p>5 行政を担当する公務員と財政、行政権の拡大、行政改革。</p> <p>6 法に基づく裁判、裁判所の種類、司法権の独立。</p> <p>7 民事裁判、刑事裁判、裁判と人権保障。</p> <p>8 司法制度改革、裁判員制度、取り調べの可視化と被害者参加制度。</p> <p>9 三権分立、三権の関係と国民、違憲審査制。</p>	12

11	<p>3節 地方自治と私たち</p> <p>1 私たちの生活と地方自治</p> <p>2 地方自治の仕組み</p> <p>3 地方公共団体の課題</p> <p>4 住民参加の拡大と私たち</p>	<p>1 地方自治とは、国と地方公共団体の役割、地方分権</p> <p>2 地方議会、首長、直接請求権。</p> <p>3 地方財政の仕組み、地方財政の健全化、人口減少と地方創生。</p> <p>4 住民の声を生かす、住民運動の広がり、地域の課題と私たち。</p>	4
11	<p>第4章 私たちの暮らしと経済</p> <p>1節 消費生活と市場経済</p> <p>1 私たちの消費生活</p> <p>2 契約と消費生活</p> <p>3 消費者の権利を守るために</p> <p>4 消費生活を支える流通</p>	<p>1 私たちの消費生活と経済、家計の収入と支出、希少性とは、商品の選択とより良い消費生活。</p> <p>2 消費者主権、契約と消費生活、消費者問題の発生。</p> <p>3 消費者の権利、日本の消費者問題への対応、自立した消費者。</p> <p>4 商品が消費者に届くまで、商業の役割、流通の合理化。</p>	5
11	<p>2節 生産と労働</p> <p>1 生産活動と企業</p> <p>2 企業の種類</p> <p>3 株式会社の仕組み</p> <p>4 労働の意義と労働者の権利</p> <p>5 労働環境の変化と課題</p>	<p>1 分業と交換、企業の生産活動と資本主義経済、技術革新と知的資源。</p> <p>2 私企業と公企業、大企業と中小企業、起業とベンチャー企業、企業の社会的責任。</p> <p>3 株式とは、株式会社の仕組み、株価の変動。</p> <p>4 労働の意義、労働者の権利、ワーク・ライフ・バランスの実現。</p> <p>5 多様化する労働の在り方、非正規労働者の増加への対応、外国人労働者、いきいきと働ける社会の実現。</p>	6
12	<p>3節 市場経済の仕組みと金融</p> <p>1 市場経済と価格の決まり方</p> <p>2 価格の働き</p> <p>3 貨幣の役割と金融</p> <p>4 私たちの生活と金融機関</p> <p>5 景気と金融政策</p> <p>6 グローバル経済と金融</p>	<p>1 市場経済とは、需要・供給と価格との関係。</p> <p>2 市場経済における価格の働き、独占価格、公共料金</p> <p>3 貨幣の役割、お金の貸し借りと金融、金融の方法と働き。</p> <p>4 銀行の仕組みと働き、預金通貨、日本銀行の役割。</p> <p>5 景気とは、戦後の日本経済、日本銀行の金融政策。</p> <p>6 貿易と経済のグローバル化、為替相場、グローバル経済と金融。</p>	7
12	<p>4節 財政と国民の福祉</p> <p>1 私たちの生活と財政</p> <p>2 財政の役割と課題</p> <p>3 社会保障の仕組み</p> <p>4 少子高齢化と財政</p>	<p>1 財政の仕組み、さまざまな税金、税金の公平性。</p> <p>2 市場経済と政府、財政政策、公債の発行、これからの財政。</p> <p>3 社会保障の役割とおこり、日本の社会保障の四つの柱。</p> <p>4 少子高齢化と社会保障、社会保険の課題、福祉社会の実現に向けて。</p>	5
1	<p>5節 これからの経済と社会</p> <p>1 公害の防止と環境の保全</p> <p>2 経済の持続可能性と真の豊かさ</p>	<p>1 公害の発生、公害対策の進展、新たな公害と地球環境問題、循環型社会に向けて。</p> <p>2 経済成長と豊かさ、地域の持続可能な発展、住民が中心のまちづくり。</p>	3

1	<p>第5章 地球社会と私たち</p> <p>1節 国際社会の仕組み</p> <p>1 国際社会における国家</p> <p>2 領土をめぐる問題の現状 問題の解決に向けて</p> <p>3 国際連合の仕組みと役割</p> <p>4 地域主義の動き</p> <p>5 新興国の台頭と経済格差</p>	<p>1 国家とは、国旗と国歌、国際法の役割と国際協調。</p> <p>2 日本が直面している問題、竹島問題の経緯と取り組み、北方領土問題の経緯と取り組み、尖閣諸島への対応。</p> <p>3 平和の実現のための国際連合、国際連合の仕組み、国際連合の役割。</p> <p>4 グローバル化と地域主義、世界の地域主義の動き、地域主義の課題。</p> <p>5 南北間の経済格差、新興国の台頭と南南問題、自立した経済発展を目指して。</p>	5
1	<p>2節 さまざまな国際問題</p> <p>1 地球環境問題</p> <p>2 資源・エネルギー問題 限りある資源と環境への配慮</p> <p>3 貧困問題 公正な世界を創る</p> <p>4 新しい戦争 平和な世界に向けて</p> <p>5 難民問題</p>	<p>1 危機的な地球環境、地球温暖化と気候変動、国際社会の取り組み、地球環境問題の解決に向けて。</p> <p>2 限りある資源、日本のエネルギー消費の状況、これからの日本のエネルギー。</p> <p>3 人口の急増と貧困、世界の貧困問題、途上国の人々の自立に向けて。</p> <p>4 地域紛争、テロリズム、戦争のない世界を目指す取り組み。</p> <p>5 二度の世界大戦と難民、難民を生みだすさまざまな要因、難民問題の解決に向けて。</p>	5
2	<p>3節 これからの地球社会と日本</p> <p>1 世界と協力する日本</p> <p>2 より良い地球社会を目指して</p>	<p>1 日本の平和主義と国際貢献、日本の外交政策。</p> <p>2 地球社会の多様性、多様性の尊重、持続可能な社会のために。</p>	2
2	<p>終章 より良い社会を目指して</p> <p>1 持続可能な社会の形成者として</p> <p>2 持続可能な社会を実現するために</p> <p>3 探究を続ける</p>	<p>・ 持続可能な社会を実現するための解決すべき社会の課題にはどのようなものがあるか確認し、理解する。</p> <p>・ 社会の課題を解決するために自分には何ができるか考え、その解決策を提案することを通して、社会に参画しようとする。</p>	3
2	<p>入試対策</p> <p>・ 3年間のまとめ</p> <p>・ 過去問対策</p>		4